

第108回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、前回の火山噴火予知連絡会（平成19年6月19日）以降の全国の火山活動について検討を行いました。今期間（平成19年6月～現在）の火山活動は前期間（平成19年2月～6月）と比べて特段の変化はありませんでした。現在までの全国の火山活動の評価は以下のとおりです。

○ 全国の主な火山活動

桜島では、5月中旬から小規模な噴火を繰り返していた昭和火口では、6月22日以降噴火の発生はありませんが、南岳山頂火口では爆発的噴火が時々発生しています。火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口周辺では引き続き注意が必要です。

三宅島では、火山活動は全体として大きな変化はなく、やや活発な状況で経過しています。多量の火山ガス放出は当分継続すると考えられます。

硫黄島では、島全体の大きな隆起や火山性地震のやや多い状態が継続しており、火山活動はやや活発な状況で経過しています。今後の火山活動に注意が必要です。

○ 各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

雌阿寒岳 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

十勝岳 [静穏な状況]

- ・6月に62-2火口周辺で行った繰り返しGPS観測で、火口付近の膨張を示す地殻変動が確認されましたが、その後はほぼ停止しており、山麓でのGPS連続観測に特段の変化は見られていません。
- ・7月に小さな火山性微動が観測されましたが、地震活動は低調で噴煙活動にも変化はなく、火山活動は静穏に経過しています。

樽前山 [やや活発な状況]

- ・A火口およびB噴気孔群では高温の状態が続いており、火山活動はやや活発な状況で経過しています。火口周辺では引き続き注意が必要です。

倶多楽 [静穏な状況]

- ・5月以降、大正地獄でごく小規模な熱湯噴出が時々見られていますが、噴気活動や地震活動に変化はなく、火山活動は静穏に経過しています。

有珠山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

北海道駒ヶ岳 [静穏な状況]

- ・北海道駒ヶ岳の膨張を示すわずかな伸びは引き続き観測されていますが、噴気活動や地震活動に変化はなく、火山活動は静穏に経過しています。

恵山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

2. 東北地方

岩木山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

岩手山 [静穏な状況]

- ・7月に継続時間の短い火山性微動が観測されたほか、8月にはやや深いところで低周波地震が一時的に増加しましたが、噴気活動や地殻変動に変化はなく、火山活動は静穏に経過しています。

秋田駒ヶ岳 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

栗駒山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

吾妻山 [静穏な状況（レベル1）]

- ・8月に大穴^{おおあな}火口周辺で行った繰り返しGPS観測によると、火口付近の膨張を示す伸びの地殻変動は収縮に転じていました。また、山麓のGPS連続観測でも特段の変化は見られていません。
- ・大穴火口の噴気活動は低調で火山性地震も少なく、火山活動は静穏に経過しています。

安達太良山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

磐梯山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

3. 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島

那須岳 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

草津白根山 [静穏な状況（レベル1）]

- ・7月と8月に小さな火山性微動が観測されましたが、火山性地震は少なく噴気活動にも変化は見られず、火山活動は静穏に経過しています。

浅間山 [静穏な状況(レベル1)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

新潟焼山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

御嶽山 [静穏な状況]

- ・山頂付近の少量の噴気や小さな火山性微動が時々観測されていますが、火山性地震は少なく山麓のGPS連続観測でも地殻変動に特段の変化は見られず、火山活動は静穏に経過しています。

白山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

富士山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

箱根山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

伊豆東部火山群 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

伊豆大島 [静穏な状況(レベル1)]

- ・深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張は今年3月頃から加速していましたが、7月以降は鈍化傾向が見られています。
- ・島内および周辺の地震活動は4月以降活発化し、7月には西方海域で一時的な地震増加がありましたが、8月以降は低調となっています。
- ・6月から8月にかけて、北山麓で発生したと考えられる小さな火山性微動が時々観測されました。
- ・三原山の熱活動には特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しています。

三宅島 [やや活発な状況]

- ・二酸化硫黄放出量は一日あたり1千～3千トンと、依然として多量の火山ガス放出が続いています。
- ・昨年8月24日以降、噴火は発生していません。地震活動や地殻変動にはこれまでの傾向と比べ特に大きな変化は見られません。
- ・火山活動は、全体として大きな変化はなく、やや活発な状況で経過しています。
- ・二酸化硫黄を含む多量の火山ガス放出は当分継続すると考えられます。風下にあたる地区では局所的に二酸化硫黄濃度が高くなることがありますので、引き続き火山ガスに対する警戒が必要です。また、雨による泥流にも注意が必要です。

八丈島 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

硫黄島 [やや活発な状況]

- ・ 昨年 8 月頃に始まった島全体が大きく隆起する地殻変動は、今年 1 月以降変動速度が小さくなりながら現在も継続しており、一時的な地震多発が見られるなど、地震活動もやや活発な状態が続いています。
- ・ 火山活動はやや活発な状況で経過しています。従来から小規模な水蒸気爆発が繰り返されてきた、島北部の元山地域を取り囲む円周上(東部や北部の海岸部から阿蘇台^{あそだい}陥没孔^{かんぼつこう}から千鳥ヶ原^{ちどりがはら}にかけて) の領域では、引き続き火山活動に注意が必要です。

福德岡ノ場 [やや活発な状況]

- ・ 変色水が観測されており、火山活動はやや活発な状況で経過しています。

4 . 九州地方及び南西諸島

九重山 [静穏な状況 (レベル 1)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

阿蘇山 [静穏な状況 (レベル 1)]

- ・ 9 月 15 日、阿蘇火山博物館火口カメラにより中岳第一火口南側火口壁の一部でごく弱い赤熱現象が確認されました。赤熱現象はその後も継続していますが、湯だまりの湯量や表面温度に変化は見られず、火山性連続微動の振幅も小さい状態が続いています。
- ・ 中岳第一火口の火山活動は静穏に経過していますが、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。
- ・ なお、南阿蘇村吉岡 (中岳第一火口から西南西約 6 km) の噴気地帯では、昨年以降やや強い噴気活動が続いており、今後も注意が必要です。

雲仙岳 [静穏な状況 (レベル 1)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

霧島山

新燃岳 [静穏な状況 (レベル 1)]

- ・ GPS 連続観測によると、昨年から新燃岳の膨張を示すわずかな伸びが観測されています。
- ・ 8 月に小さな火山性地震の一時的な増加がありましたが、微動の発生や噴気活動の変化はなく、火山活動は静穏に経過しています。

御鉢 [静穏な状況 (レベル 1)]

- ・ 7 月に小さな火山性地震の一時的な増加がありましたが、噴気活動や地殻変動に変化はなく、火山活動は静穏に経過しています。

桜島 [比較的静穏な噴火活動 (レベル 2)]

- ・ 昭和火口では 5 月中旬から小規模な噴火が繰り返されましたが、6 月 22 日以降噴火の発生はありません。南岳山頂火口では爆発的噴火が時々発生しています。
- ・ 火山性地震や微動の発生回数は 5 月中旬以降減少し、現在も少ない状態が続いています。

- ・二酸化硫黄放出量は昭和火口で噴火が始まった5月中旬以降、一日あたり2千～3千トンと一時的に増加しましたが、6月以降は一日あたり数百トン前後で推移しています。
- ・地殻変動観測では、^{あい}良カルデラ(鹿児島湾奥部)の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が続いています。
- ・火山活動はやや活発な状況で経過しています。南岳山頂火口及び昭和火口の周辺では引き続き注意が必要です。

薩摩硫黄島 [やや活発な状況(レベル2)]

- ・硫黄岳火口の噴煙活動はやや活発で、火山性地震の一時的な増加が時々見られるなど、火山活動はやや活発な状況で経過しています。火口周辺では引き続き注意が必要です。

口永良部島 [やや活発な状況(レベル2)]

- ・火山性地震や微動は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。
- ・昨年9月以降見られていた^{しん}新岳付近の膨張を示す地殻変動は、12月頃には鈍化し、今年6月頃にはほぼ停止した状態となっています。
- ・火山活動はやや活発な状況で経過しています。火口周辺では引き続き注意が必要です。

諏訪之瀬島 [活発な状況(レベル3)]

- ・^お御岳火口では爆発的噴火があったほか、小規模な噴火が時々発生するなど、噴火活動が継続しています。
- ・^{とし}十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落で時々降灰が確認されました。
- ・火山活動は活発な状況で経過しています。火口周辺では引き続き注意が必要です。

硫黄島 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○ その他の活火山の火山活動評価

上記以外の活火山については、特段の異常現象は確認されておらず、今年2月16日の第106回火山噴火予知連絡会定例会における検討結果と同様に、火山活動は静穏な状況で経過していると考えられます。

注) 本資料で示すレベルとは、12火山に導入している火山活動度レベルを示しています。

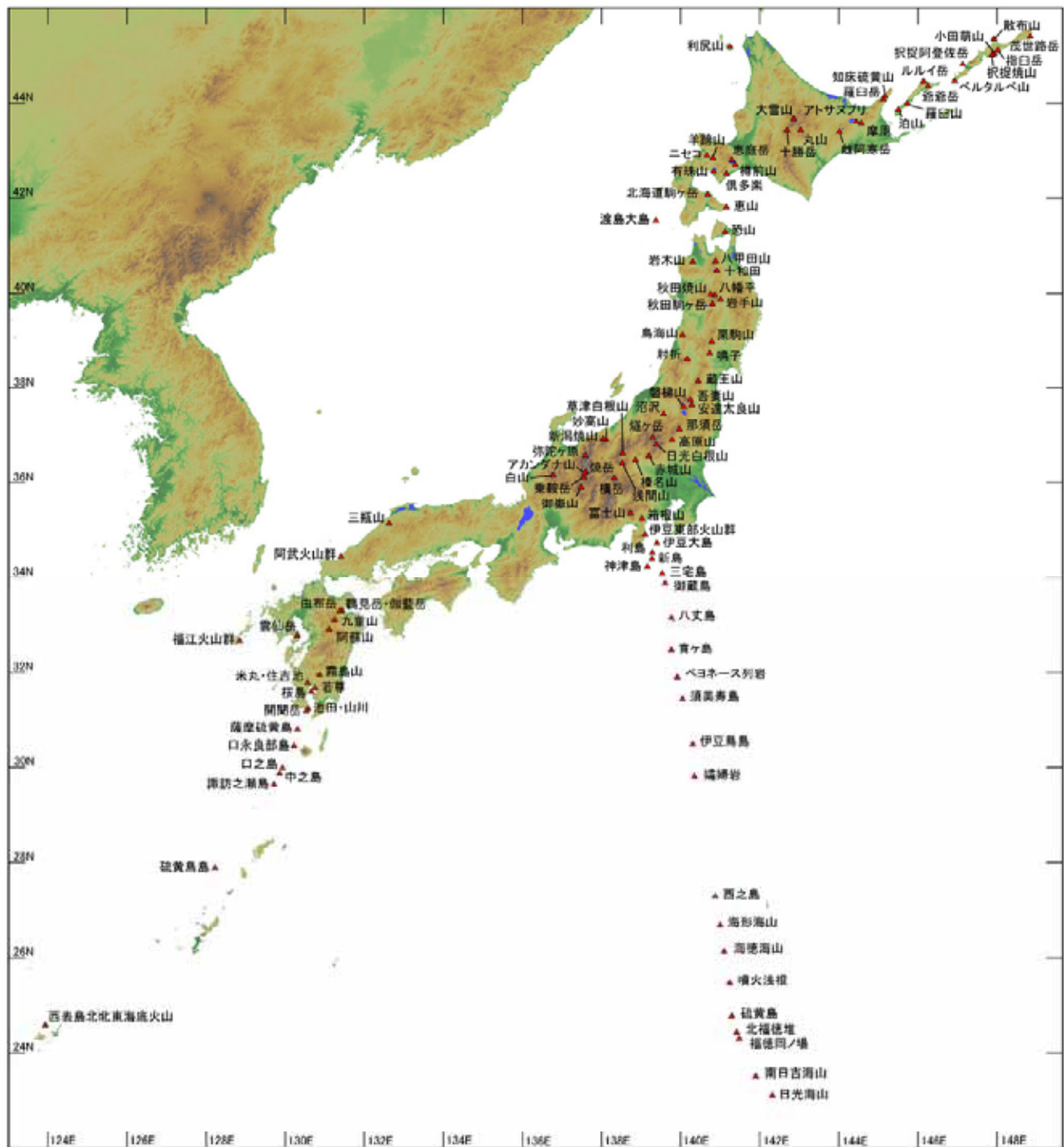
第108回火山噴火予知連絡会による各地方の主な活火山の火山活動評価結果

地方	火山名	火山活動評価		
		現 在	最近の活動経過	
北海道地方	雌阿寒岳	静穏な状況	平成17年 6月21日 静穏	
			平成18年 2月18日 やや活発	
			3月21日【噴火】活発	
			6月12日 やや活発	
			8月25日 静穏	
	十勝岳	静穏な状況	平成17年 6月21日 やや活発	
			平成19年 2月16日 静穏	
東北地方	樽前山	やや活発な状況	平成17年 6月21日 やや活発	
	倶多楽	静穏な状況	平成18年 2月28日 静穏	
	有珠山	静穏な状況	平成17年 6月21日 静穏	
	北海道駒ヶ岳	静穏な状況	平成17年 6月21日 静穏	
	恵山	静穏な状況	平成17年11月 2日 静穏	
	岩木山	静穏な状況	平成19年10月16日 静穏	
	岩手山	静穏な状況	平成17年 6月21日 静穏	
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	秋田駒ヶ岳	静穏な状況	平成17年 6月21日 静穏	
	栗駒山	静穏な状況	平成18年11月14日 静穏	
	吾妻山	静穏な状況（レベル1）	平成17年 2月 1日 静穏	
	安達太良山	静穏な状況	平成17年 6月21日 静穏	
	磐梯山	静穏な状況	平成17年 6月21日 静穏	
	那須岳	静穏な状況	平成17年 6月21日 静穏	
	草津白根山	静穏な状況（レベル1）	平成17年 2月 1日 静穏（レベル1）	
	浅間山	静穏な状況（レベル1）	平成15年11月 4日 やや活発（レベル2）	
			平成16年 7月20日 静穏（レベル1）	
			7月31日 やや活発（レベル2）	
			9月 1日【噴火】活発（レベル3）	
			平成17年 6月21日 やや活発（レベル2）	
			平成18年 9月22日 静穏（レベル1）	
	新潟焼山	静穏な状況	平成18年 2月28日 静穏	
	御嶽山	静穏な状況	平成17年 6月21日 静穏	
			平成19年 1月19日 やや活発	
			5月25日 静穏	
	白山	静穏な状況	平成17年11月 2日 静穏	
	富士山	静穏な状況	平成17年 6月21日 静穏	
	箱根山	静穏な状況	平成18年11月14日 静穏	
	伊豆東部火山群	静穏な状況	平成17年 6月21日 静穏	
	伊豆大島	静穏な状況（レベル1）	平成15年11月 4日 静穏（レベル1）	
	三宅島	やや活発な状況	平成17年 6月21日 やや活発	
	八丈島	静穏な状況	平成18年 2月28日 静穏	
	硫黄島	やや活発な状況	平成17年 6月21日 静穏	
			平成19年 1月 9日 やや活発	
	福德岡ノ場	やや活発な状況	平成17年11月 2日 やや活発	

地方	火山名	火山活動評価		
		現 在	最近の活動経過	
九州地方及び南西諸島	九重山	静穏な状況（レベル１）	平成17年 2月 1日	静穏（レベル１）
	阿蘇山	静穏な状況（レベル１）	平成15年11月 4日	やや活発（レベル２）
			平成16年 1月14日	【噴火（土砂噴出）】 活発（レベル３）
			2月13日	やや活発（レベル２）
			平成17年 4月14日	【噴火（土砂噴出）】 活発（レベル３）
			5月13日	やや活発（レベル２）
			平成18年 1月20日	静穏（レベル１）
			3月24日	やや活発（レベル２）
			8月 4日	静穏（レベル１）
	雲仙岳	静穏な状況（レベル１）	平成15年11月 4日	静穏（レベル１）
	霧島山（新燃岳）	静穏な状況（レベル１）	平成17年 2月 1日	静穏（レベル１）
			平成18年 2月 1日	やや活発（レベル２）
			5月22日	静穏（レベル１）
			12月 3日	やや活発（レベル２）
			平成19年 1月 9日	静穏（レベル１）
	霧島山（御鉢）	静穏な状況（レベル１）	平成17年 2月 1日	やや活発（レベル２）
			平成18年 5月22日	静穏（レベル１）
			平成19年 2月 5日	やや活発（レベル２）
			3月 5日	静穏（レベル１）
	桜島	比較的静穏な噴火活動（レベル２）	平成15年11月 4日	比較的静穏な噴火活動（レベル２）
			平成18年 6月12日	【昭和火口から噴火】 活発（レベル３）
			8月18日	比較的静穏な噴火活動（レベル２）
	薩摩硫黄島	やや活発な状況（レベル２）	平成17年 2月 1日	やや活発（レベル２）
	口永良部島	やや活発な状況（レベル２）	平成17年 2月 1日	やや活発（レベル２）
	諏訪之瀬島	活発な状況（レベル３）	平成17年 2月 1日	【噴火継続】 活発（レベル３）
	硫黄島	静穏な状況	平成19年 2月16日	静穏
上記以外の活火山については、特段の異常現象は確認されておらず、今年 2月19日の第106回火山噴火予知連絡会定例会における検討結果と同様に、火山活動は静穏な状況で経過していると考えられます。				

注）最近の活動経過欄には、火山活動度レベル導入火山（ ）はレベル導入日以降の活動経過を、それ以外の火山（ ）は第101回火山噴火予知連絡会定例会（平成17年6月21日開催）以降で最初に評価を明記した定例会開催日以降の活動経過をそれぞれ記載しています。なお、 の火山では連続監視を行っていませんが、各機関により随時行われている観測結果に基づいて活動評価を行っています。

参考



日本における108活火山の分布図

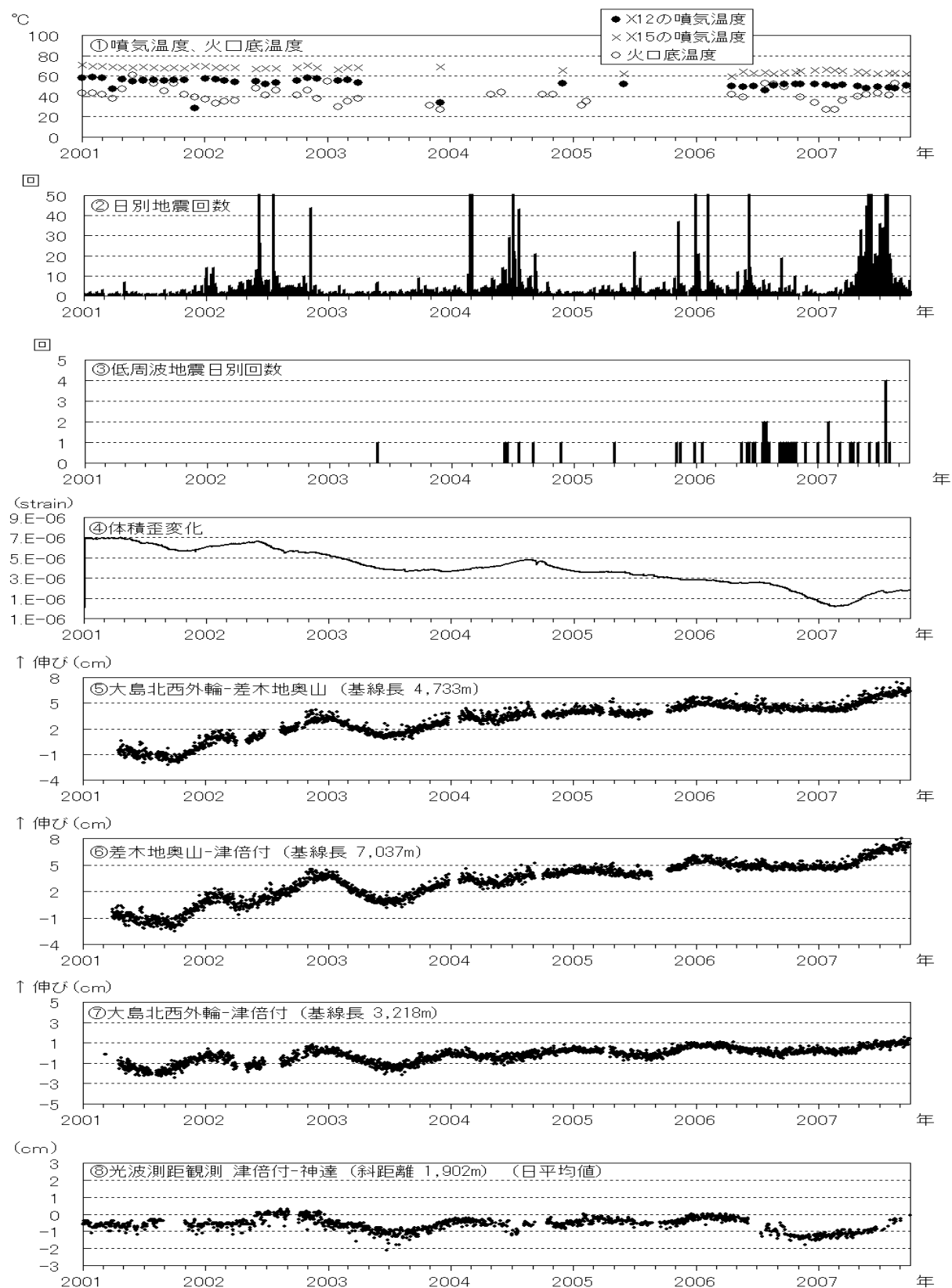


図3 伊豆大島 最近の火山活動経過 (2001年1月～2007年9月)

火口底温度 (IR-1) は赤外放射温度計による遠隔測定値、噴気温度 (X-12、X-15) は直接測定値

体積歪データは温度補正のほか、2001年1月～6月のデータを元にトレンド除去を施している

～ GPS連続観測 (図1のGPS基線 ～ に対応) による日平均値 (観測開始は2001年3月7日)
光波測距観測による日平均値

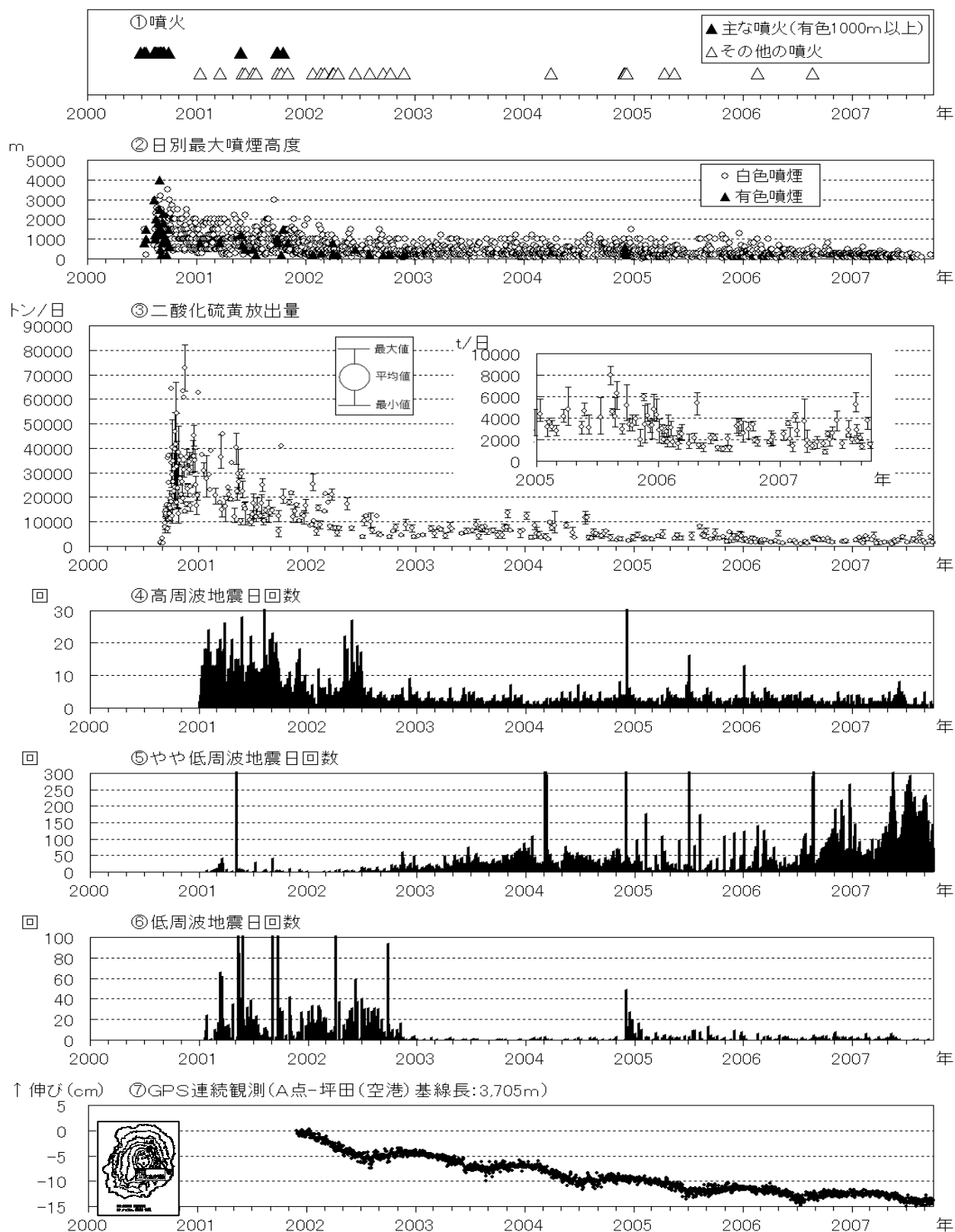


図2 三宅島 火山活動経過図(2000年1月1日~2007年9月30日)

注1) 及び は、陸上、海上及び航空自衛隊、海上保安庁、東京消防庁、警視庁の協力を得て作成している。

注2) は、気象庁火山課、三宅島測候所、産業技術総合研究所地質調査総合センター及び東京工業大学火山流体研究センターが共同で行った。2000年9月以降はCOSPEC(Correlation Spectrometer)型(Resonance製)、2005年5月以降はDOAS(Differential Optical Absorption Spectroscopy)による観測結果をもとに作成。

注3) 、及び は、地震タイプ別の計測を開始した2001年から掲載。また、地震計数基準はA点振幅8 μ m/s以上でS-P時間3秒以内である。

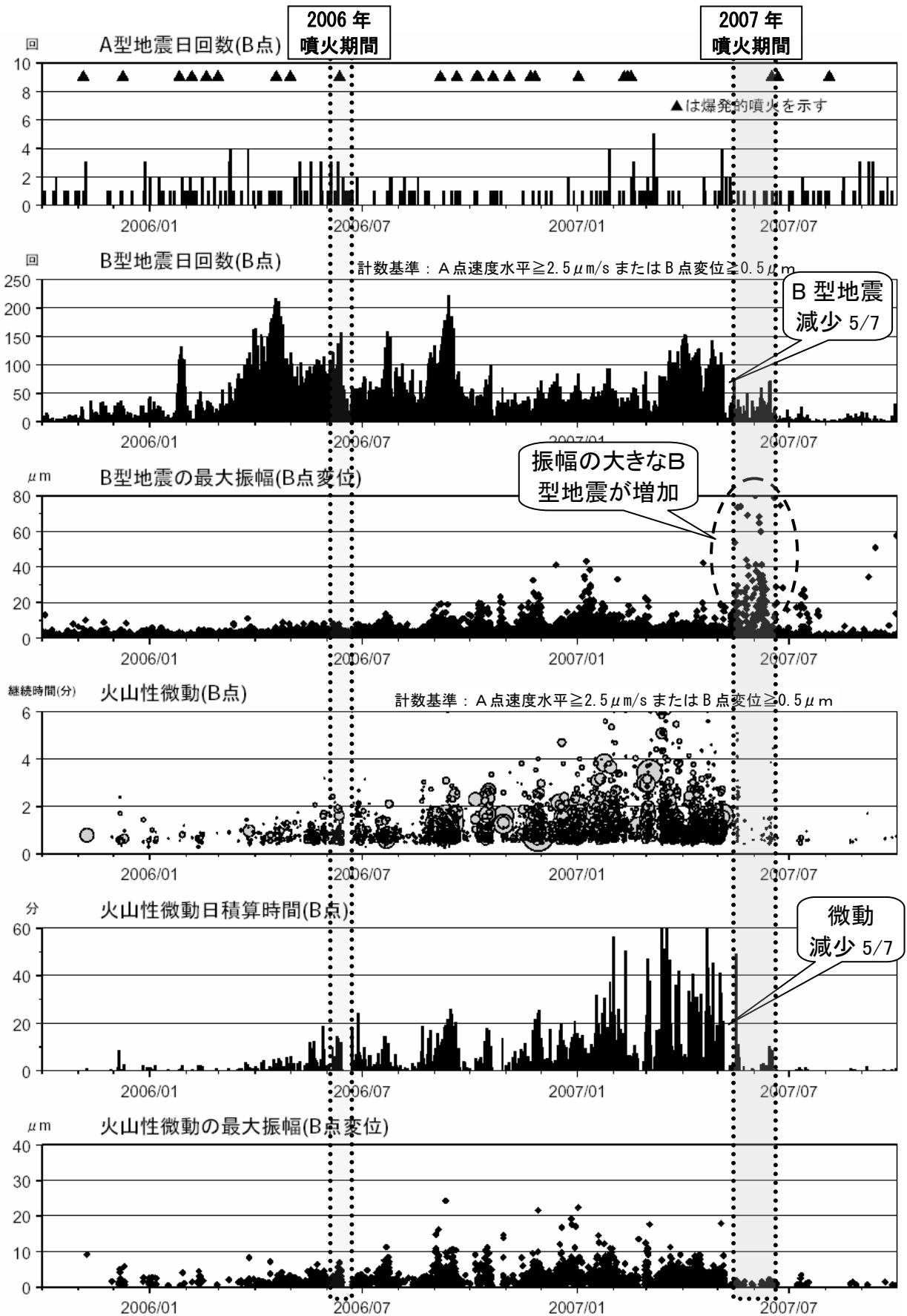


図3 桜島 最近2年間の地震・微動の状況(2005年10月1日~2007年9月30日)

- ・南岳山頂火口では、6月に2回、8月に1回の爆発的噴火が発生した。
- ・B型地震や火山性微動は少ない状態で経過した。
- ・振幅の大きなB型地震は次第に少なくなっている。

* 領域は昭和火口からの噴火期間を示す。